

## たった一人の六年生リーダー

白峰小学校 殊才 瑚雪

私は、たった一人の6年生リーダーです。白峰小学校の全校は、10人と少なく、6年生は、私一人だけです。だから、集団登校をするときは、リーダーが一人しかいないのです。私が集団登校するときはみんなが安全に学校に行けるように心がけています。

私は、全員が安全に学校に行けるように気を付けていることがあります。例えば、歩く速さです。低学年が、歩きやすいように低学年に合わせた速さで、歩くようにしています。また、白線から出ている子がいれば、「線の内側に入ってね」といって、注意しています。ときどき、後ろを振り返って、しっかりと1列になっているかどうか、歩くスピードは速くないか遅くないかを確認したりして、学校まで安全に行けるようにしています。

集団登校をしていると、後ろから「もう少し遅くしたほうがいいんじゃない。」や「列が乱れているよ。」などと声をかけてくれる子もいます。いつも後ろを向いて歩けるわけではありません。そんな声が聞こえたときは、後ろを向いて注意ができるのでとても助かっています。それに、見守り隊の方々が毎日私たちのことを見守ってくれているので安心して登校できています。

注意しても聞いてくれない子がたまにいます。そんな時は、おたがいに、私の代わりに注意してくれることもあるので毎日安全にみんなで力を合わせて学校に来ることができています。最近、学校の近くや、白峰のあちこちに熊が出てきているので、周りを見ながら気を付けたいです。

私は、あと7か月間で卒業してしまいます。だから、しっかりとみんなを最後まで安全に、学校まで届けたいです。それに、冬の集団登校は、たくさん危険があります。例えば、屋根雪が落ちてきたり、足元が滑りやすく歩きにくかったり、みんじゃ（流雪溝）に落ちそうになったりすることがあります。春から秋の登校よりも、もっと気を付けて登校できるようにしたいです。